

深心私費ノ等シク思慮セラルト信ジマス。然レ作ラ私奉從業員
ハ念社が一而莫大ニ建設費用ノ爲レツルナリ充分考慮シ快懽
ニ生計某ノ中ニシテ良ク陰忍自盡シテ其意ヲ爲メ、献身的努
力ヲ傾倒シテ今ヨリ一年リマシタ。

此ノレニシテ建設ニ若ク進場ナルヲ見察シ、誕生ノ思ノナク、現
在ノ收支状態ノ清サレキ最モ妥當ナリト思テ、別紙待遇改
善申請ヲ茲ニ提出致シマス。

此ノ申請員寮ニ上君々被拜ニ際ハ生活費ヲ緩和セラルト希望、
家族一同ニ妥當ト海是リ候ヘシ、極謹シテ歎息致シマス。

大正十五年八月十日

京坂電鉄従業員一同

木社長 殿

ハ亦支保一由年終ノ度ノ勤務時日ヲ現進表表ノ供ハ時日ニ改
正セラレタレ

理由

労働ハ時日打ガ労働者ノ保健上ヨリ見セ、切カハ
世界ノテ元階級ノ等シク思ハル所ナリマス

先キノ字換為株會社ハ是等ノ字換ヲ良ク申テ、新上率先ニ
テ本保ハ時日勤務ヲ採ラシハ、勞賃共甚ガ幸福ノ事トシテ在
ル以テテアリマス

此レノ字換、及此等保ハ未ダ其レが實地サレテ居テ、ハ收
入ノ遺憾ニ思ヒ、以テ新ニ保ハ之等、第條ハ比較的勞賃
加少ナル云フ理由、一時日勤務時日ヲ多ク謀ヒ、カ如ク、兼テ
廣クマス